

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表： 2024年 2月 28日

事業所名 放課後growのおと谷町教室

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---------------------------------------|--|----|---------------------|---|----------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 療育スペースは広く、物の配置等安全面に配慮している | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | 通常の職員配置基準よりも多く職員を | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | 療育の流れや来所時、帰宅の際の準備等を視覚的にわかりやすく提示している | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | 日々事業所内の清掃、消毒等衛生管理を心掛けている | |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | 日々療育の振り返りを実施している | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | 開所初年度のため、今回初めて自己評価アンケートを実施 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | | | | 開所初年度のため、今回初めて自己評価アンケートを実施 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | 自己評価アンケートを実施 | 今回の自己評価をもとに検討する |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 職員の研修を定期的に実施している | |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | アセスメントシートを作成している | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | アセスメントシートを作成している | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | 支援計画に沿った支援を実施している | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | プログラム担当のスタッフを中心に相談して立案している | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 職員がローテーションでプログラムを立案しているため、内容が固定化されにくい | |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している | ○ | | お子様各々を評価し、支援計画を作成している | |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 日々朝礼で情報共有、療育の打ち合わせ等を実施している。また朝礼に参加できない職員に対して、療育の予定等を紙面で共有している | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 日々終礼で情報共有、その日の療育の振り返りを実施している | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 活動の記録にプログラムの様子等を記録している | |
| 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | モニタリングは半年間に一度実施している | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|----|--------------|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 児童発達支援管理責任者が主にサービス担当者会議に出席している。また相談支援事業所からモニタリングを受けている | |
| | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | 区役所、保健師、相談支援事業所等と情報交換を実施している | |
| | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | / | / | | 利用者に該当者不在 |
| | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | / | / | | 利用者に該当者不在 |
| | 25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 幼稚園、保育園の先生と送迎の際や実際に訪問していただき情報共有をしている。送迎の際にやりとりあり | |
| | 26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 今後就学の際に必要なであれば情報提供を実施する。送迎の際にやりとりあり | |
| | 27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 保護者様から依頼があれば、他事業所との情報交換を行う | 保護者様から依頼があれば、他事業所との情報交換を行う |
| | 28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | ○ | | 利用者が地域の園に通っている方が多く、日常生活で障がいのない子どもと交流ができている |
| | 29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | 区の子ども部会等に参加している | 引き続き利用者がいる地域のこども部会に参加したり、相談支援事業所と情報交換をしていく |
| | 30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 送迎の際に療育の様子を伝えたり、保護者様から相談事があればお伺いしている | |
| 31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | | 保護者研修を実施している | | |
| 保護者への説明責任等 | 32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 契約の際に、重要事項説明書に基づいて実施している | |
| | 33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | 0 | 児童発達支援ガイドラインに基づきサービスを提供している | |
| | 34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | 0 | 送迎の際に療育の様子を伝えたり、保護者様から相談事があればお伺いしている | |
| | 35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | 保護者研修を実施している | 来年度、保護者研修以外にもイベントで保護者同士交流できる機会を設けていく予定 |
| | 36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 職員間で情報共有をし対応している | |
| | 37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | LINEやInstagram、紙面にて療育の様子をお伝えしている | |
| | 38 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | 個人情報の書類は、鍵付きの書庫で保管している | |
| | 39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | |
| | 40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | 相談支援事業所、幼稚園、保育園等にリーフレットをお渡ししに行き、事業所の周知活動を実施している | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----|---|--------------------------|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | 各種マニュアルを作成している。緊急時の対応、防災対策、避難場所、感染症対策等については契約時に説明をしている | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 防災訓練を半年に一度実施している。また防災訓練の様子を、当日参加していない利用者の保護者様に対してもLINEにて報告している。 | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | フェイスシートを保護者様に記載してもらい、アレルギー等の注意事項を把握している | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | フェイスシートを保護者様に記載してもらい、アレルギー等の注意事項を把握している | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | ひやりはっと、事故報告書にて記録を取り、今後の対策を検討している | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 虐待防止、人権について等の研修を実施している | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | 身体拘束についての説明を契約の際に実施し、保護者様に同意書に記載してもらっている | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。